

施策分析シート（令和8年度）

No1

施策名	快適な生活道路の整備			施策No	08-03	部課名	防災都市づくり部土木管理課		
						課長名	大木	内線	2710
関連部課名	防災都市づくり部基盤整備課、建築指導課								
行政評価 事業体系	分野	Ⅳ	環境先進都市						
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成						

区民に最も身近な都市施設である道路を誰もが安全に、かつ、安心して快適に利用できるよう、適正に維持管理を行うとともに、拡幅・改修等を行う。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文			
		5年度	6年度	7年度				
	①	周辺環境の快適さ	3.08	3.07	3.05	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？		
	②	防災性	2.35	2.26	2.31	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？		
	③	安全・安心の実感	2.75	2.70	2.74	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？		
④								
標	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			5年度	6年度	7年度	8年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	陳情件数(件)	977	875	860	860	860	平成18年度件数(2,129件)の縮減 (道路・街路灯等)
	②	細街路後退用地整備率(%)	49	50	51	52	52	整備延長／整備対象道路延長両側 (自主整備含む)
	③							
	④							
	⑤							

(単位：千円)

		勘定科目	6年度	7年度	差額			勘定科目	6年度	7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	172,436	198,512	26,076	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	269,664	287,566	17,902		国庫支出金	5,281	5,149	▲ 132	
		維持補修費	369,982	420,685	50,703		都支出金	10,776	7,208	▲ 3,568	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	3,337	0	▲ 3,337	
		補助費等	36,611	61,100	24,489		使用料及び手数料	880,265	921,620	41,355	
		減価償却費	146,091	112,759	▲ 33,332		その他	98,339	130,403	32,064	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	997,998	1,064,380	66,382	
		賞与・退職給与引当金繰入額	28,778	38,375	9,597		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 407,086	▲ 425,439	▲ 18,353	
		その他行政費用	381,522	370,822	▲ 10,700		金融収支差額(d)	▲ 627	▲ 567	60	
		行政費用合計(b)	1,405,084	1,489,819	84,735		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 407,713	▲ 426,006	▲ 18,293	
特別費用(g)		2	0	▲ 2	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		▲ 2	0	2	当期収支差額(e)+(h)		▲ 407,715	▲ 426,006	▲ 18,291		
貸借対照表	資産	勘定科目	6年度	7年度	差額	勘定科目	6年度	7年度	差額		
		流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	15,964	17,039	1,075	
			不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
			その他の流動資産	0	0	0		特別区債	6,514	6,574	60
		固定資産	有形固定資産	191,885,990	192,197,303	311,313		賞与引当金	9,450	10,465	1,015
			土地	177,385,065	177,474,311	89,246		その他の流動負債	0	0	0
			建物	0	0	0	固定負債	171,939	182,965	11,026	
			建物減価償却累計額	0	0	0		特別区債	57,135	50,562	▲ 6,573
			工作物等	17,782,460	18,117,285	334,825		退職給与引当金	114,804	132,403	17,599
			工作物等減価償却累計額	▲ 3,281,535	▲ 3,394,293	▲ 112,758		その他の固定負債	0	0	0
			無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	187,903	200,004	12,101	
		建設仮勘定	281,882	378,646	96,764	正味財産	191,981,181	192,377,157	395,976		
		その他の固定資産	1,212	1,212	0	正味財産の部合計	191,981,181	192,377,157	395,976		
		資産の部合計	192,169,084	192,577,161	408,077	負債及び正味財産の部合計	192,169,084	192,577,161	408,077		

○行政費用の物件賃は、街路樹やクリーンベルトの管理、道路清掃、道路ストック点検等に係る委託料であり、令和7年度は橋梁点検業務委託を実施したため増加した。

○行政費用の維持補修費は、主に道路改修費や道路応急工事費であり、令和7年度は道路改修工事及び紅葉坂跨線人道橋剥落防止ネット設置工事実施分が増加した。

○補助費等は、橋梁点検委託負担金支出のための費用が増加した。

○行政費用のその他行政費用は、主に私道における細街路拡幅工事や補修工事等である。

○行政収入の使用料及び手数料は、主に電柱等の道路占用料である。その他は、占用工事道路復旧費である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○令和6年度の道路ストック総点検の中で、路面性状調査（ひび割れ、わだち掘れ、凸凹確認等）、道路附属物調査（ペDESTリアンデッキ、大型カルバート）を実施した。 ○令和7年度に路面下空洞調査を実施し、発見した空洞箇所については、占用企業者と連携し、順次補修工事を行っている。 ○紅葉坂こ線人道橋については、令和2年度と3年度にエレベーター及びエスカレーターの設置に向けた調査、検討を行った結果、接続する地上部の道路線形の大幅な見直しが必要なこと、地下埋設物が支障となるなど、多くの課題が判明した。令和7年度に実施した橋梁点検では、床版等の傷みが激しく、補修が必要であることが判明した。また、床版下部のコンクリート片がはく落する危険性がある箇所が見つかったため、鉄道運行の支障とならないよう、緊急対応として、はく落防止ネットの設置工事を行った。 ○下御隠殿坂跨線道路橋と第二日暮里跨線橋は、5年に1度の法定点検を実施している。予防保全を講ずる段階との判定が出ており、機能維持のために対策を行っていく必要がある。 ○バリアフリー基本構想及び重点整備地区の基本構想等に基づき、道路のバリアフリー化に取り組んでいる。
課題	○道路ストック総点検の結果、ひび割れやわだち掘れなどにより危険度の高い箇所については既に改修が完了しているが、道路を良好な状態に維持するため、引き続き、不良箇所の早期発見に努めていく必要がある。 ○路面下の空洞が原因となり、道路陥没が発生することで、重大な事故に繋がる可能性があるほか、災害時には避難路としての機能や災害救援活動への影響が懸念されるため、路面下空洞調査の結果に基づき、空洞箇所の改修を進める必要がある。 ○紅葉坂こ線人道橋へのエレベーター・エスカレーター設置は、地上部へ接続する階段の一部撤去、下御隠殿橋への斜路の一部通行止めなど動線への影響や地下埋設物の大規模な移設工事が必要となるなどの課題がある。また、駅前広場も含めた規模で道路線形を見直す必要がある。 ○紅葉坂こ線人道橋については、コンクリート片落下による鉄道運休等がないよう、早期に補修工事に着手する必要がある。 ○下御隠殿橋及び第二日暮里跨線橋の補強・補修工事の実施にあたっては、鉄道の営業線を跨ぐ橋梁であることから、莫大な経費と工事期間が必要となる。 ○バリアフリー化が完了していない箇所や安全な通行に支障がある路線等については、計画的に改修を進めていく必要がある。
今後の方向性	○道路ストック総点検については基本的に、5年毎に実施し、損傷状況に応じて優先順位を付け、補修を実施する。 ○路面下空洞調査の定期的な実施により、道路通行の安全性を確保していく。 ○紅葉坂こ線人道橋は、点検の結果、橋梁の健全度が低いことが判明したため、補修工事を優先的に着手できるよう、鉄道事業者と調整を行う。 ○令和7年度に実施した第二日暮里跨線橋、下御隠殿橋の点検結果を踏まえ、今後の補修・補強に向けて検討を進める。 ○バリアフリーに対応した歩行空間を整備するため、段差解消や歩道のセミフラット化などを無電柱化に併せて進めていく。また、街路樹の根上がりにより危険な箇所については、計画的に改修を行っていく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
8年度	9年度	
推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行っていく。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
道路占用等事務	11-03-01	30,746	48,436	4,413	4,900	継続	継続	道路及び公園を適正な状態で管理する上で必要な事業であるため、継続して実施する。
道路管理システム運営	11-03-03	7,489	9,114	3,029	3,129	継続	継続	道路管理事務や占用企業者の申請処理業務など、事務の効率化に必要な事業であるため、継続して実施する。
占用工事道路復旧事業	11-03-04	58,095	46,349	54,059	43,148	推進	推進	占用工事に伴う工事調整や復旧整備は、道路の良好な維持管理に不可欠な事業であるため、推進する。
道路管理事務	11-03-05	93,568	113,126	37,497	65,782	推進	推進	道路を適正に管理するために必要な事業であり、推進する。
道路ストック総点検事業	11-04-03	60,949	90,989	55,002	85,005	推進	推進	定期的に点検を実施することにより、道路利用者及び第三者への被害防止のための事業であるため、推進する。
道路清掃事業	11-04-04	76,436	77,834	67,316	68,364	継続	継続	道路を安全で快適な状態に維持する事業であるため、継続して実施する。
道路維持事業	11-04-05	257,374	222,537	96,845	95,323	継続	継続	道路の機能を常に良好な状態に維持する事業であるため、継続して実施する。
道路応急工事事業	11-04-07	94,047	94,720	87,109	87,102	継続	継続	道路を常に良好な状態に保つため、緊急に対応する工事は不可欠な事業であるため、継続して実施する。
街路樹等管理事業	11-04-09	104,666	103,980	97,661	95,819	推進	推進	都市景観の形成や環境問題、更には災害時の減災の観点から、街路樹等を適正に維持管理する事業であるため、推進する。
道路改修事業	11-04-10	177,553	230,089	292,831	302,262	継続	継続	安全かつ安心して通行できる道路となるよう計画的な改修が必要な事業であるため、継続して実施する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
紅葉坂跨線人道橋整備事業	11-04-14	13,614	41,171	9,693	30,947	重点的 に推進	重点的 に推進	当該跨線人道橋はＪＲや京成 電鉄の線路を跨いでおり、健全 な状態を維持していくことが必 要な事業であるため、重点的に 推進する。
私道整備事業	11-04-19	47,686	46,279	41,739	39,206	継続	継続	公道を補完する機能を有する 私道についても、公道に準じた 整備を行う必要がある事業であ るため、継続して実施する。
細街路拡幅整備事業（工事）	11-04-20	336,583	320,866	580,163	629,334	重点的 に推進	重点的 に推進	防災性の向上や居住環境の改 善を図る上で、細街路の拡幅は 重要な事業であるため、重点的 に推進する。
細街路拡幅整備事業（助成）	11-05-01	46,307	44,323	25,714	20,298	重点的 に推進	重点的 に推進	木造住宅密集地域の防災性の 向上及び住環境の改善を図る事 業として、重点的に推進する。
合 計		1,405,113	1,489,813	1,453,071	1,570,619			